

# 2020年度の戦略的政策課題の テーマ(案)について

令和2年1月  
内閣官房国土強靱化推進室



# 2020年度戦略的政策課題のテーマ(案)

第48回レジリエンス懇談会(2019.4.22)における4つのテーマ候補案のうち、次年度以降に取り組むとされた「人とコミュニティのレジリエンスの強化」及び「風土・自然条件に逆らわない土地利用・地域経済への変化」の2テーマを2020年度のテーマ案とする。

テーマ案	課題・論点
①東京一極集中リスクとその対応	東京圏への転入超過数が2017年に再び増加に転じる中、地方分散化をもたらすと考えられる国土構造の観点からの各種施策について、定量的に効果が把握できるものがない。
②公共性の高いインフラを中心とした官と民の連携	昨年災害等の課題として民間が管理する公共性の高いインフラにおける災害時の機能維持がある。また、災害時における官民による情報共有や、地域経済の中核的な役割を果たす民間企業の事業継続の取組強化等の課題がある。
③人とコミュニティのレジリエンスの強化	「人」については、災害時の支援等を行うボランティアや防災リーダー等を育成、評価する仕組みが必要。また、「コミュニティ」については、省庁の所掌範囲でのコミュニティの活動支援の取組があるが、強靱化に当たってはコミュニティ全体の強化を支援する行政の体制が必要。
④風土・自然条件に逆らわない土地利用・地域経済への変化	いわゆるグリーンレジリエンスについて、総合的・体系的に推進していく必要がある。

2019年度～  
実施

2020年度案

# 2020年度の戦略的政策課題のスケジュール案

## 年次計画2020

2020年度戦略的政策課題で検討するテーマを記載

レジリエンス懇談会(4月)  
・2020年度の各テーマの議論方向性

レジリエンス懇談会(7月~12月)  
・各テーマについて議論

レジリエンス懇談会(3月~5月頃)  
・各テーマの年次計画への反映について

具体化した取組  
について反映

## 年次計画2021

2020  
年度

2021  
年度

## 1) 概要

- (1) 脆弱性評価においては、「起きてはならない最悪の事態」を想定したうえで、施策分野ごとの評価を実施してきた。
- (2) 一方で、今回の脆弱性評価において進めてきたフローチャート分析により、効率的・効果的な国土強靱化のためには、複数のフローに頻出する事象など新たな視点に着目して分析する重要性が浮き彫りになってきたところ。
- (3) このため、フローチャートをベースに、これら新たな視点を踏まえ、国土強靱の取組を推進するにあたって、深掘すべきテーマ(具体の施策、具体の取組が不明瞭なもの等)について「**戦略的政策課題**」として、懇談会で**集中的に議論**する。
- (4) **国土強靱化基本計画**の見直しにおいても、課題を解決するために調査検討を行うこととして、**戦略的政策課題を位置づけ**

### 国土強靱化基本計画

#### 第4章 3 プログラムの推進と重点化

##### (2) 課題解決のための調査検討

... このため、脆弱性評価を通じて把握された課題のうち戦略的に対応すべきものについては、毎年度、課題を解決するために必要となる対応方策について検討するとともに、例えば、必要となる対応方策の効果の評価方法、進捗管理のための指標等について調査を行うこととする。

## 2) 戦略的政策課題の進め方

- ① 戦略的政策課題のテーマは、脆弱性評価におけるフローチャートをベースとして、社会情勢や災害の発生状況等を踏まえ、毎年度設定する。
- ② 毎年度、選択された戦略的政策課題に沿って、**施策の進捗状況の確認**や、**施策の不十分な戦略課題の対応方策等**、**集中的に議論**する。検討結果は、**次年度の年次計画に反映**する。